

定 例 会 議 会 議 録

開 催 日 時	令和6年11月13日（水）午前10時00分 ～ 午後0時20分	
開 催 場 所	特別会議室、公安委員会室	
区 分	『 全 体 会 議 』 議 題 ・ 要 旨	主 管 部
【 審 議 事 項 】	1 「令和7年宮城県警察運営指針等（案）」の策定について 以下のとおり策定したので、御審議いただきたい。 ● 運営指針～県警察運営の大綱方針 安全安心な地域社会の実現 ● サブタイトル 社会の変化に的確に対応しつつ、県民一人一人の期待と信頼に応える警察活動の推進 ● 運営重点～県警察として県民に示す特に取り組むべき重点取組 ○ 匿名・流動型犯罪グループに係る総合対策の推進【新規】 ○ 特殊詐欺とSNS型投資・ロマンス詐欺の根絶に向けた総合対策の推進【修正】 ○ サイバー空間の脅威に対する総合対策の推進【継続】 ○ 犯罪抑止総合対策と少年の健全育成活動の推進【継続】 ○ 県民に不安を与える犯罪の徹底検挙と暴力団対策の推進【修正】 ○ 交通死亡事故の抑止と飲酒運転根絶【継続】 ○ 第48回全国育樹祭等に向けた警備諸対策の推進と災害・テロ等緊急事態への迅速・的確な対応【修正】 ○ 警戒の空白を生じさせないための組織基盤の強化【修正】 ● 基本目標～県民に公表する取組目標 ○ 刑法犯認知件数の抑止（目標数値を公表） ○ 交通事故死者数の抑止（目標数値を公表） 運営指針とサブタイトルについて、警察の普遍的な役割であり、引き続き県民一人一人の期待と信頼に応える警察活動が必要と考え、継続することとした。 運営重点では、「匿名・流動型犯罪グループ」による犯罪が治安対策上の脅威となっており、県警察を挙げた対策を推進する必要があることから「匿名・流動型犯罪グループに係る総合対策の推進」を追加した。「特殊詐欺とSNS型投資・ロマンス詐欺の根絶に向けた総合対策の推進」について、「SNS型投資・ロマンス詐欺」の認知件数と被害額が増加、極めて憂慮する状況であることから、迅速的確に対処すべく「SNS型投資・ロマンス詐欺」を文言に追加した。「県民に不安を与える犯罪の徹底検挙と暴力団対策の推進」について、匿名・流動型犯罪グループに係る総合対策の推進に組織犯罪対策に関する事項が包括されることから「組織犯罪」という文言を削除した。「第48回全国育樹祭等に向けた警備諸対策の推進と災害・テロ等緊急事態への迅速・的確な対応」について、来年県内で全国育樹祭が開催予定であり諸対策に万全を期す必要があることから「第48回全国育樹祭等に向けた警備諸対策の推進」という文言を追加した。「警戒の空白を生じさせないための組織基盤の強化」について、運営指針達成のためには、限りある組織のリソースを一層効果的に活用し、強固な組織基盤を構築する必要があることから「変化する社会に向けた警察組織の充実と強化」から文言を修正した。その他の項目については、令和7年も引き続き継続する。	総 務 部

基本目標の「刑法犯認知件数の抑止」について、刑法犯認知件数の増加に歯止めをかけ、早期に治安改善を図る必要性及び新宮城の将来ビジョン実施計画で掲げた令和9年までの目標数値である1万件以下を達成すべく、そのように設定した。「交通事故死者数の抑止」については、過去数年の交通事故死者数の推移、現状等を踏まえ引き続き40人以下を目標設定とした。

今後、12月中に通達を発出して周知を図り、年明けに行われる文教警察委員会で報告する。

委員：匿名・流動型グループによる犯罪は、まさに県民が心配しており、関東圏だけでなく地方も狙われる局面に入ってきていると思う。

具体的に目標を掲げ、県警察がどのように対処していくのか県民にメッセージを発信することで県民も安心できると考える。

総務部長：12月中に県警ホームページにも掲載して県民へ周知していく。

委員：全国育樹祭のような大きなイベントがある場合、これまでも項目に反映させているのか。

総務部長：大規模警備は組織をあげた対策が必要であることから、これまでも反映させている。

委員：公的な大規模イベントのみならず民間でも大きな会合、国際会議がある場合も対応を徹底願いたい。

警備部長：先に開催された観光レジリエンスサミットなど、今後も宮城県、仙台市で民間主体の会議が開催される場合で抗議活動が懸念される時は、所要の警備態勢を組んで対応していく。

2 公安委員会関係手数料条例の一部改正について

交 通 部

交通関係の公安委員会手数料条例の改正には「道路交通法の改正に伴うもの」と「3年ごとに行われる定期改正」があり、今回はどちらにも該当する。

道路交通法の改正に伴うものは、運転免許証とマイナンバーの一体化に伴うもの、定期改正は、運転免許証の試験手数料や更新手数料など、運転免許証の手続きに伴う手数料が改正されるものである。公安委員会手数料条例は、道路交通法以外にも風適法、古物等営業法、警備業法などがあるが、今回は道路交通法に関する改正のみである。

改正の経緯は、令和4年の道路交通法改正の際、3年以内に運転免許証とマイナンバーカードを一体化を実施することとし、マイナンバーカードに免許情報を記録させる条文等が盛り込まれて公布されていたが、本年9月12日の国家公安委員会において令和7年3月24日に同法が施行、併せて手数料等を規定している道路交通法施行令も同日施行すると発表された。また、道路交通法施行令について、9月13日から10月12日までパブリックコメントが行われ、おおむね2週間後以降に公布されることとなっていたが、特に意見等がなかったと警察庁から回答を受けており、現在示されている道路交通法施行令がそのまま公布される予定である。手数料条例は、本来、道路交通法施行令が公布されてから改正手続に入るが、公布を待って2月議会に提出すると、県民への周知期間が非常に短くなるため、11月議会に条例案を提出することとなったことから、よろしく御審議いただきたい。

委員：改正後はマイナンバーカードと一体化した方が手数料が抑えられるということで良いか。

交通部長：そのとおりである。運転免許証又はマイナンバーカードと2枚持ちの場合、免許証の発行が必要になるので、その分の人件費や物件費が必要となるため割増しとなる。さらにマイナンバーカードへ一体化した場合、優良運転者及び一般運転者に限り、オンライン講習を受講して更新できることなども考慮されていると考える。

【報告事項】

1 第394回県議会（11月定例会）の開催日程等について

総務部

第394回県議会（11月定例会）の会期は、11月21日から12月11日までの21日間が見込まれている。警察関係の議案等については、予算議案で「令和6年度宮城県一般会計補正予算（第3号）」が提出されるが、内容は道路標示の塗り替え工事として1億2千万円の債務負担を設定するものである。予算外議案については、ただいま御審議いただいた運転免許証とマイナンバーカードの一体化手続に関する手数料の新設に関する条例と令和7年6月1日に施行予定の刑法等の一部を改正する法律で懲役及び禁固刑が廃止され拘禁刑が創設されることに伴い関係条例の文言等を整理するための条例が提出される。

専決処分の報告は、岩沼警察署庁舎改築工事請負契約について作業内容変更に伴い968万円を増額して変更契約するものと、ノーヘル二人乗り原動機付自転車を停止させようとした際、警察官が他の一般車両のボンネットに乗り上げて車を損傷させたもの等に係る和解及び損害賠償の額の決定3件92万2,996円と、交通事故に係る和解及び損害賠償の額の決定9件202万1,470円が報告される。交通事故に関しては安全確認不十分のまま後退したため停止中の車両に衝突して損傷させたものなどである。

2 警察本部代表電話への音声ガイダンスの導入について

総務部・警務部

警察本部代表電話に自動音声ガイダンスを導入する目的は、警察業務外の用件や悪質架電者等からの入電抑制、電話交換業務の負担軽減等である。

内容については、音声ガイダンスにしたがって対応するプッシュ番号を押すもので、例えば落とし物の電話であれば会計課につながるというものである。また、プッシュ機能ない場合や何も押さない場合は、従来通り電話交換につながる。

11月25日午前9時から24時間運用を開始する。なお、広報については11月12日から県警ホームページで広報を行っている。

委員：民間でも導入する企業はあるので導入自体に問題はないが、利用者にとっても県警にとっても効率的なガイダンスの分類であって欲しい。不便にならないよう運用後も改善を検討願いたい。

警務部長：導入した機器は、パソコン等でガイダンスの言葉を変更できるので、県民の方が不便になったと感じないように努めたい。

委員：将来的には電話交換業務を縮小する予定があるのか。

警務部長：民間企業のように利用代金とか明細などカテゴリーが無理なく分けられれば良いが、警察の場合、要望や問合せが多岐にわたるので、人員縮小はあっても完全に電話交換業務をなくすことはできないかと考えている。

3 サイバー空間の安全確保と「闇バイト」対策の取組について

生活安全部

サイバー空間の安全確保と闇バイト対策の取組として、家電量販と連携した広報啓発活動を11月2日から当面の間実施する。協力企業は、株式会社デンコードーとトレンドマイクロ株式会社で、活動内容は、県内のケーズデンキ各店舗において、パソコンやスマートフォンを購入したお客様に対して店員の方から県警察で作成した闇バイト加担防止やフィッシング被害防止などが記載された資料や、トレンドマイクロ株式会社から提供を受けたサポート詐欺被害防止などに関する注意喚起資料の配布を実施するものである。

また、11月7日午後3時からキューアンドエー株式会社の会議室において、同社の仙台オペレーション部長以下4名、県警察からサイバーセキュリティ統括官以下4名が参加してサイバー防犯ボランティア緊急ミーティングを実施した。内容はSNS上の違法有害情報の通報や削除要請を積極的に取り組んでいるキューアンドエー株式会社と、闇バイトの実態や検索キーワードの実態について情報共有を行い、闇バイト募集投稿に関する更なる削除要請や警察への通報を依頼したものであった。

今後はサイバー防犯ボランティアを委嘱している県内の大学を訪問し、大学生のボランティアに対しても同様の情報共有を図り、闇バイト募集投稿への対応強化を予定している。また、闇バイトの募集投稿は、はじめは闇バイトと分からないような投稿をし、その後より匿名性が高いテレグラムなどに切り替えて連絡を取るケースが増えていることから、引き続き、これらの投稿に対して警察の公式アカウントから警告を実施して闇バイト等の犯罪抑止を推進していく。

委員：闇バイトに応募すると最後は名前、住所など個人情報
を握られるとのことであり、参考となった。企業
や大学生によるサイバー防犯ボランティアによる違
法有害情報や闇バイト募集投稿への削除要請は良い
取組だと思うので引き続きお願いしたい。

4 「第53回宮城県交通安全県民大会」の開催について

交通 部

この大会は、交通安全に顕著な功績等のあった個人・団体を表彰するとともに、交通事故のない安全で快適な社会の実現を目指し、県民総ぐるみによる交通安全推進を参加者の総意として宣言することにより、交通安全意識の普及、高揚を図ることを目的したものである。

大会は令和6年11月19日午後1時30分から、栗原市の栗原文化会館「アポロプラザ」において、宮城県・宮城県警察・栗原市の共催で開催され、受賞者や交通安全関係機関等約800名が参加する。次第については、交通安全功労者や交通安全ポスター・作文コンクールで優秀な成績を収められた児童等に対する表彰を行うほか、入賞した作文の朗読を行う予定である。

5 第44回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会概要と各種対策について

交通 部

この大会は昭和56年に三重県で第1回大会が開催され、第3回大会からは岐阜県で、平成23年以降は「復興祈念大会」として宮城県に開催場所を移し「クイーンズ駅伝 in 宮城」の名で定着している。今年は全国から24チームが参加し、11月24日（日）午後0時15分に松島町の文化観光交流館前をスタートし、仙台

	市陸上競技場をゴールとする全6区間、マラソンと同じ距離の42.195kmで競われる。 交通対策として、安全で円滑な交通規制を実施するためコースを管轄する5警察署員及び交通部員で交通対策部隊を編成するほか、交通規制内容を市政だよりやチラシ、道路上に看板等を設置するなど、事前広報を徹底している。 テロ対策として警備部で所要の体制を確保して警戒態勢を強化するほか、主催者に対しても警備に万全を期すよう要請を行っているところである。	
--	--	--

区 分	『 個 別 審 議 等 会 議 』	
【 決 裁 事 項 】	1 苦情の受理について（2件）	総 務 課
	2 苦情の調査結果及び通知案について（3件）	総 務 課
	3 保有個人情報開示請求書の受理及び保有個人情報の開示をする旨の決定について	総 務 課
	4 警察署協議会委員の委嘱の上申について（若柳警察署協議会委員）	総 務 課
	5 拘禁刑の創設に伴う公安委員会所管条例の改正について	総 務 課
	6 一定の病気による行政処分（取消し）に対する撤回事案について	運 転 免 許 課
	7 道路交通法の規定に基づく意見の聴取等	運 転 免 許 課
【 報 告 事 項 】	1 令和6年度「犯罪被害者週間」における取組について	警 務 課
	2 交通規制の意思決定について（令和6年11月分）	交 通 規 制 課
	3 公安条例許可申請について（令和6年10月分）	警 備 課
	4 小型無人機等の飛行に関する通報について（令和6年10月分）	警 備 課